

*本メールは、関東更生支援ネットワークにご登録いただいた方々にbccで一斉配信しております。

~~~~~

## 目次

- 1 今月の再犯防止トピックス  
【参加無料】「第3回 再犯防止・更生支援セミナー開催します！」
- 2 お知らせコーナー  
「関東更生支援ネットワーク会員限定スタディツアー開催中止について」  
【関東地方更生保護委員会からのお知らせ】  
「横浜市更生支援ネットワーク研修が開催されました」  
「“社会を明るくする運動”千葉県作文コンテスト表彰式が開催されました」

~~~~~

1 今月の再犯防止トピックス

【参加無料】「第3回 再犯防止・更生支援セミナー開催します！」

今年度3回目となる再犯防止・更生支援セミナーを関東更生支援ネットワーク会員と地方自治体関係者向けに、3月にオンライン方式で開催することになりました！今回は、講演3本立てで、矯正、保護、地域の3つの観点から刑務所出所者等に対する就労支援について考えていきます。刑務所や少年院を出た後、社会に戻っても仕事や住居がなく、必要な支援を受けられずに孤立し、再犯に至ってしまうことがあります。犯罪や非行をした人が仕事はもとより、地域に定着し、再び安心して生活を送れるようになるためには、どのような支援が必要か一緒に考える時間を共有しませんか。

第3回再犯防止・更生支援セミナー

「刑務所出所者等の就労支援、その先へ」

- (1) 日 時
令和5年3月7日(火) 13:30~15:30 (13:15~入室開始)
- (2) 開催方法
Microsoft Teamsによるオンライン方式
- (3) 内 容
ア 講 演 13:30~15:00
(ア) 「矯正施設における就労支援(施設内における支援)」
川越少年刑務所就労支援専門官 「ハローワークと連携した刑務所出所者の就労支援」
東京少年鑑別所庶務課長 「少年鑑別所における保護観察対象者の雇用について」
(イ) 「保護観察対象者に対する就労支援(社会内における支援)」
横浜保護観察所社会復帰対策官 「保護観察対象者に対する就労支援」
神奈川県就労支援事業者機構事務局長 「就労支援事業者機構の役割」
(ウ) 「刑務所出所者の受入れについて(地域における支援)」
社会福祉法人邑元会しびらき 「刑務所出所者の受入れについて」
イ 質疑応答 15:00~15:30

参加をご希望の方は、件名を「セミナー申込み」として、以下①～④を本文に記載して当課宛てにメールにてお申込みください。

- ①お名前
- ②ご所属（団体名、機関名、部署名等）
- ③電話番号
- ④参加URL送付用メールアドレス

定員：100名（先着順）

締切り：令和5年2月15日（水）

* 期日までに定員に達した場合は、その時点で募集を締め切らせていただきます。

応募の結果や参加用URLにつきましては、2月下旬にメールにてお知らせいたしますので、申込みに係る記載内容はお間違えのないようお願いいたします。

別添のチラシや東京矯正管区ホームページも併せてご参照ください。

2 お知らせコーナー

○ 「関東更生支援ネットワーク会員限定スタディツアー開催中止について」

参加者の皆様には、既にお知らせさせていただいたとおり、本年1月24日に予定していた当ネットワーク会員限定のスタディツアー（会場：多摩少年院）につきましては、新型コロナウイルスの影響により、開催を中止とさせていただきました。

事務局としても、初めての試みであるスタディツアーを開催し、是非とも参加者の皆様をご案内して少年矯正への理解を深めていただきたかったのですが、非常に残念です。お申込みいただいた会員の皆様、本当に申し訳ございませんでした。

次回の実施につきましては現在検討中であり、本メールマガジン等により改めてご案内させていただきますので、今しばらくお待ちください。

【関東地方更生保護委員会からのお知らせ】

- 令和4年12月20日（火）21日（水）に「横浜市更生支援ネットワーク研修」が開催されました。研修は、横浜市の福祉職員（主にケースワーカー）、矯正施設職員、保護観察官が一緒に参加し、再犯防止に向けた関係機関の連携をテーマにした事例検討が行われました。事例を通じて、司法と福祉の連携方法、情報交換の在り方など再犯防止に向けた具体的支援について話し合いが行われました。

- 令和4年12月27日（火）に、“社会を明るくする運動”千葉県作文コンテスト表彰式において入賞した小学生10名、中学生10名の表彰が行われ、千葉県推進委員会委員長賞（県知事賞）を受賞した宮前奈央さんと星野友哉さんに、それぞれ小学生の部と中学生の部を代表して、作文を朗読していただきました。

中学生の部を代表して作文を朗読いただいた星野友哉さんの作文は、「ブルースティック」と題して、お母様が使っていた洗剤が、ブルースティックという受刑者が刑務所の中で製造した製品であると知ったことをきっかけに、刑務所を出所した人たちのその後の生活に着目し、社会復帰のためには「仕事」が不可欠であることや刑務所作業製品が社会とのつながりを実感し、社会復帰につながる第一歩となると訴えかけていました。そして、星野さんの訴えにあるように、より多くの人に刑務所作業製品を知ってもらおうと財団法人矯正協会からご提供いただいたブルースティックの試供品を表彰式の来場者に配布し、受刑者の社会復帰に向けた取組を知っていただきました。

また、表彰式の余興として、千葉ダルクのスタッフや入所者の方々による琉球太鼓エイサーの演舞を披露していただき、薬物依存からの回復に向けた活動の一端に触れてもらいました。

* * *

このお知らせコーナーでは、会員の皆様からも、セミナーや研修会の開催情報など、他の会員にお知らせしたい情報を募集しております。

再犯防止・更生支援に関連して何か耳寄りな情報などありましたら、ぜひ事務局までお寄せください。本コーナーへの掲載を検討させていただきます。

~~~~~

最後まで読んでいただきありがとうございました。

本メールマガジンの配信を止めたい方は、事務局（下記連絡先）まで、件名に「アスワ配信停止」と記載したメールを送信してください。本文の記載は不要です。

関東更生支援ネットワーク事務局 東京矯正管区更生支援企画課

Mail : [1.toukyoukyousei.j7u@i.moj.go.jp](mailto:1.toukyoukyousei.j7u@i.moj.go.jp)

会員の皆様からのご意見・ご感想もお待ちしております！

~~~~~